

2) 民 生 (家 庭)	37
(2) 移動発生源	38
1) 自 動 車	38
図-1 データの流れ	38
表-15 道路種別コード	39
表-16 昼 夜 率	39
イ 自動車交通量	39
表-17 年度別車種別排出係数	39
ロ 交通量伸び率	39
ハ 窒素酸化物排出量の算定方法	40
表-18 面源と線源の分類	40
2) 船 舶	40
図-2 データの流れ	40
イ 窒素酸化物排出量の算定方法	41
ロ 窒素酸化物排出量将来値(65年度)の算定	41
表-19 港湾種別伸び率	41
4. 気象モデル	42
(1) 気象ブロック	42
表-20 気象ブロック一覧表	43
図-3 風配図に基づく気象特性の地域区分	44
表-21 「環境管理計画に係る気象調査」における気象環境の特徴	45
1) 代 表 気 象	46
イ 無風区分の修正	46
ロ 大気安定度の集約化	46
表-22 大気安定度・頻度分布	47
表-23 日本式大気安定度の区分	48
ハ 代 表 風 速	48
ニ 逆 転 層	48
表-24 季節別成層状況	49
(2) 煙上昇モデル	50
表-25 煙上昇式及び有効煙突高	50

表-26 Moses
イ Moses Car
ロ CONCAW式
ハ Briggs式
表-27 Brigg
(3) 拡散モデル
1) 拡散計算式
イ 点 煙 源
ロ 面 煙 源
ハ 線 煙 源
2) 大気安定度分類と
イ 有風時の拡散巾
表-28 日本式
図-4 Pasq
表-29 日本式
ロ 無風時の拡散巾
表-30 Turne
表-31 Turne
表-32 拡散パ
3) 大気安定度分類
表-33 Meade
4) 一酸化窒素→二酸化窒
5) バックグラウンド濃度の
環境基準を満足する
図-5 二酸化硫黄
図-6 二酸化窒素
参 考 文 献